

## 応用編課題⑥

【名前：】

「話す」と「怒り」を表現する類義語の使いこなしを意識して、800文字程度の文章を書きましょう。

シチュエーション「裏切り者に怒りをぶつける」

「ふざけんじゃねえよ！」

テーブルに置いてあったショットグラスを掴み、アリアに投げつける。強いアルコールの香りが広がり、騒がしかった店内は気持ちが悪いくらいに静まり返った。

「キール！ 何してんの！」

「何しているかはコイツだろ！ コイツのせいで俺らは追われる羽目になったんだろが！」

殺意のみなぎった目でキールは座ったまま動かないアリアを睨む。髪から垂れるアルコールの雫がアリアの膝に落ちた。

「ちょっと待ってよ。まだアリアって決まったわけじゃ」

「これを見てもそうだって言えんのか」

キールはスマートフォンを取り出し、画面が割れるほど荒々しくタップする。キール自身もこの感情に歯止めが効かないように、物に当たるしかできることがなかった。そして写真を画面に出し、アリアに見せつける。それを見たレイの瞳が大きくなった。

写真には二人の人物が写っていた。一人は上品なドレスを着てにこやかに笑うアリア。頬は小桃色に染まっていて、幼さすらあって愛らしい。

だがアリアが笑顔を向けている人物が問題だった。

黒いスーツに身を包み、見覚えのあるオールバックの黒髪。アリアの肩に優しく添えられた手には、竜の彫刻が施された指輪が光っていた。

「コイツ……」

「忘れてねえよな、レイ。お前を重傷へと追い込んだ男だ」

当たり前だ、とレイは強く頷いた。

この男のせいで兄を失った。この男のせいで体に一生消えない傷ができた。身体から憎しみが湧き出てくるようで、レイは強く拳を握る。アリアの顔を見ることはできなかった。

コメントの追加 [na2]: 誰のセリフか地の文で補足しましょう

コメントの追加 [na3]: 実際割れてはいないと思うので「割れそうなほど」にするのはどうでしょうか。荒々しい様子が簡潔に表現できているのは良いです。

コメントの追加 [na1]: 最初の地の文ですので主語を書きましょう。

「俺たちは別に仲間じゃねえよ。利害の一致で組んでいるだけだ」  
自分でも恐ろしいくらいキールは冷静になる。体と心がバラバラになっていく。  
「けれど、人としてのけじめくらいはつけろ。アリア」  
その眼光に濁りはない。透明で、ただ純粋な怒りがあるだけだった。

全体を通して

・ここはどこでしょうか？ 場所の描写をしましょう。  
・アリアの様子が描写されておらず、彼女がどういう心境なのかわかりません。表情などを描写するといいでしょう。